

目次

[今週号は 2022 年 2 月 25 日時点の情報を基に作成しています]

投資コラム	： 景気調整の底入れは？	1
日本株銘柄情報	： ボードルア (4413)	2
日本株銘柄情報	： アイドマ・ホールディングス (7373)	3

景気調整の底入れは？

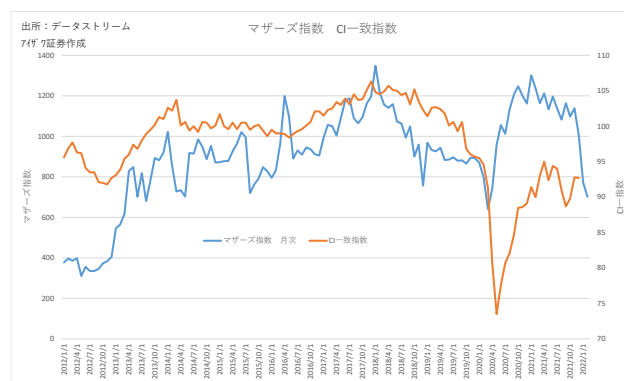
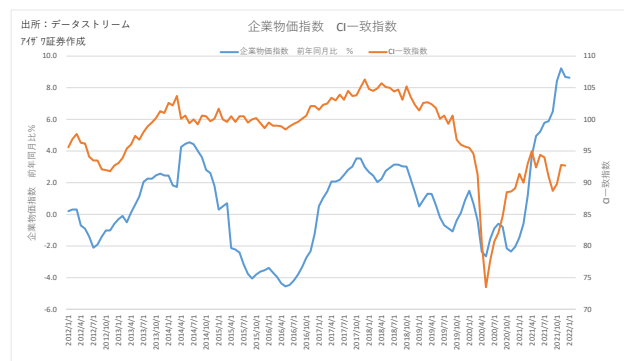
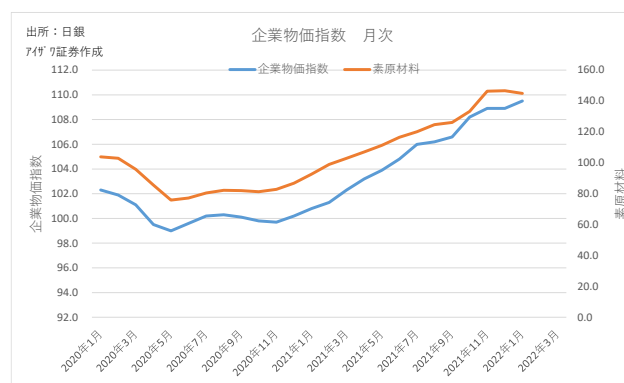
笹木 義次

原油価格など原材料価格の上昇を受けて、企業物価指数が上昇しています。2022 年 1 月の企業物価指数は前年同月比 8.63% の上昇となりました。原油価格の上昇は、エネルギー以外への需要が減少する事で景気調整の要因となります。

景気動向指数の CI 一致指数は 2021 年 5 月をピークに低下しています。景気は調整局面となっています。企業物価指数の上昇により、景気調整が一段と加速する局面を迎えると見ています。

景気調整の加速化で、景気循環の底入れも早期化する可能性が出てきたと筆者は考えています。直近では前述の様に 2021 年 5 月がピークと考えられますので、景気循環の短期化で 2022 年 6 月頃には底入れの兆しが出てくると推測しています。

マザーズ指数は CI 一致指数とほぼ連動しています。景気調整の底入れの兆しが 6 月頃とすれば、それに先行してマザーズ指数は底入れすると考えています。



ボードルア (4413)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/2/25)	2,063.0 円
売買単位	100株
市場	マザーズ
時価総額	161 億円

事業内容

ボードルアは、IT インフラの設計、構築、保守運用等を行っています。IT インフラとは、主にシステムを動作させるサーバー、システムに接続するためのネットワーク、情報を守るセキュリティ等の事です。システムが複雑化し、そのため IT インフラの構築に関して、専門性の高いサービスが求められるようになっていきます。

特徴

これまでに蓄積したナレッジや専門人材がボードルアの差別化要因になっていると考えています。差別化要因により競争力の高いサービス提供と、効率的な人材育成が可能である事がボードルアの特徴となっています。

効率的なサービス提供とニーズに応じた人材の提供で、競争力の高いサービスとなっています。IT インフラの領域に特化していることから、業務ナレッジが蓄積され、効率的なサービスを提供しています。また、IT インフラに特化した専門人材を多数抱えていることから、顧客企業のニーズに対応した専門人材の提供が可能となっています。

IT インフラの領域に特化している事で、効率的な人材育成が可能となっています。ボードルアでは、2014 年から新卒の採用を開始しました。これまで 8 年間で育成ノウハウを蓄積してきました。未経験者でも専門的な人材に育成する仕組みを構築しています。

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/2	2,648	409	395	278	38.7	0.0
2021/2	3,084	509	542	415	57.7	0.0
2022/2計	3,920	635	641	479	65.2	0.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

(注意) 今期計画の売上高は下限の売上高となっています。

<投資指標>

非連結	
今期予想PER	33.5 倍
PBR	5.89 倍
予想配当利回り	0.00 %

成長余地が大きい

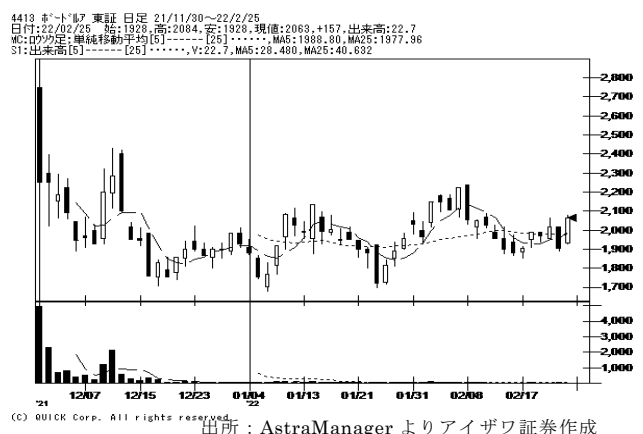
ボードルアの成長余地は大きいと筆者は考えています。IT インフラの高度化により、専門特化したボードルアへの需要が増加する事が見込めるからです。

また、継続性の高いストック型売上高の構成比が高まる事で、安定した事業拡大が見込めると見ています。ボードルアは、上流工程の設計から入って、構築、保守運用まで行っています。設計、構築のフロー型売上高に加えて、保守運用のストック型売上高の構成比が高まっているからです。

さらに、入社 2 年未満のまだ戦力化していない従業員の構成比が高く、将来戦力化する事で売上高の成長が見込まれます。

業績計画

ボードルアの 2022 年 2 月期の売上高は 39 億 20 百万円と前年比で 27.1%の増収を、営業利益は 6 億 35 百万円と前年比で 24.7%の増益を計画しています。



アイドマ・ホールディングス (7373)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/2/25)	2,402.0 円
売買単位	100株
市場	マザーズ
時価総額	364 億円

事業概要

アイドマ・ホールディングス(以下アイドマHD と略称します)は、テクノロジーとクラウドワーカーを活用する事で、営業支援等のサービスを中小企業に提供しています。従業員数が10名から100名までのBtoB型の中小企業が対象になっています。

サービス内容

アイドマHDでは営業支援サービスを提供しているセールス・プラットフォーム事業が主力事業です。営業人材の不足や、営業体制が構築されていない中小企業が主な顧客です。

コンサルティングを行い、顧客企業の商材にあった販売対象に関しての提案を20件程度行います。その中から10件程度に絞り込んで、テストマーケティングを行います。次は効果が出た販売先に対して、集中的にマーケティング活動を行います。

その際に、アイドマHDが開発した独自の営業ツールを活用します。それにより、テストマーケティングや実践の活動の進捗や結果の確認が出来るなど、すべての活動履歴がわかります。この活動履歴をデータとして顧客企業に納品します。

セールス・プラットフォーム事業の収入はコンサルティングフィーです。単価は30万円で提供期間は13ヶ月です。コンサルティングの

<業績の推移>

連結	決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
	2020/8	1,829	210	216	164	12.8	0.0
	2021/8	3,716	829	817	480	36.2	0.0
	2022/8計	5,700	1,200	1,205	740	48.8	0.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

(注意)2021年12月1日付で1株を2株に分割しました。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

<投資指標>

連結	指標	数値
	今期予想PER	49.2 倍
	PBR	11.20 倍
	予想配当利回り	0.00 %

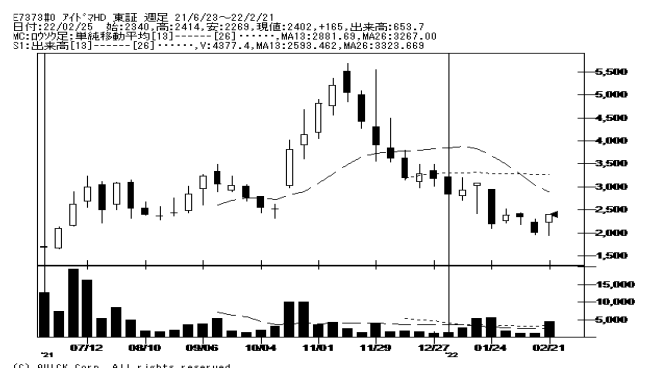
期間が1ヶ月、テストマーケティングの期間は6ヶ月、実証期間は6ヶ月となり、合計の提供期間は13ヶ月です。

3つの特徴

アイドマHDには、独自ツールを自社で開発している事、クラウドワーカーを活用している事、データを蓄積している事で再現性のあるサービス提供が出来る事の3つの特徴があります。こうした事から、テクノロジーとクラウドワーカーの活用で、独自のポジションを形成している事がわかります。

2022年8月業績計画

2022年8月期第1四半期の業績は、売上高が12億53百万円と前年同期比で67.1%の増収に、営業利益は4億9百万円と前年同期比で75.5%の増益となりました。営業利益の進捗率は34.1%となりました。営業利益の進捗率は高く、通期では上方修正含みとなっています。通期では、2022年8月期の業績は、売上高が57億円と前年比で53.4%の増収を、営業利益は12億円と前年比で44.6%の増益を計画しており、期初計画を据置いています。



本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**LINE公式アカウント
はじめました！**

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa